

Vol.55

第2563回例会

No.16

令和7年12月9日

■会長の時間

会長 竹村 克二

今日は医療についてお話しする時間です。死因第3位の老衰についてお話しします。

老衰は従来死因としての頻度はそう多いものではありませんでしたが、2001年以降、死亡数・死亡率ともに増加し、2018年には脳血管疾患に代わって死因の第3位になりました。

今回は老衰で死なないためにどうすればいいか?という話ではありません。人間いつかは最後がお訪れるわけですので、老衰で死ぬということは、望ましい事態と言えるでしょう。

厚労省の2019年度版死亡診断書(死体検案書)記入マニュアルでは「老衰」について、「死因としての『老衰』は、高齢者で他に記載すべき死亡の原因がない、いわゆる自然死の場合のみ用いる」としています。

死因としての老衰が増えてきた理由はいくつかあると思います。その一つは高齢化です。それまで死因の上位を占めていた悪性新生物、心疾患、脳血管疾患を克服して長生きできる時代になってきたということです。もう一つの理由は在宅医療が浸透してきたということです。戦後は病院で死ぬということが非常に増えてきた時代でした。病院ではあらゆる手段を使って延命を図ります。その効なく、亡くなる場合、多くは何らかの合併症を併発して亡くなる場合が多いので、死因が老衰となることは非常に少なかったのです。

病院の医師は死因を老衰と書くことはほとんどありません。私も病院勤めをしていた18年間で、死亡診断書に死因を老衰と書いたことは一度もありませんでした。

高齢化の時代となり、在宅医療、療養型病床での看取りが増えてくるにつれ、老衰を死因と記載する場合が増えてきました。患者さん自身無理な延命治療を希望しない方が増えてきています。私も在宅医療での看取りを行っているので、死亡診断書に死因を老衰と書く頻度が多くなっています。

人生100年の時代が近づいていますが、元気に生きて、最後は静かに眠る。老衰が死因の一番になること。これが現在の医療の目指しているところかもしれません。

ただ人の世はなかなか一筋縄でいかないことも多くあります。私の患者さんで胃がんが見つかり、病院を紹介して手術を受けた方がいました。幸い早い時期のがんで見つかったため、治癒することができました。「先生のおかげで命拾いした」と、ことあるごとに言われ、感謝されていました。何度も、何度もそういわれたので記憶に残っていたのですが、それから20年近くたち、加齢とともに、足腰が不自由になり、往診した時のことです。息子さんとは別居の一人暮らしで、室内は荒れ果てていました。室内を見渡しながら、ため息をついて口から出た言葉は、「ああ、あの時死ねばよかった」でした。

死に際して、苦しみぬ人は少ないとは思いますが、安らかに死ぬ場所を準備しておくことも我々の心がけておかなければならないことかもしれません。

■幹事報告

幹事 小林 大二郎

1. 国際大会関係
登録についてサポートが必要な方は申し出ください。
2. 今後の情報
①12/14 クリスマス例会
3. フードロス情報
前は参加予定者が全員参加だったので前回と変更はありません。現在 59,400 円です。

■卓話 ～私の職業奉仕～

松井 克之

皆さま、本日は「専門職と企業経営者における職業奉仕」について、少し考えてみたいと思います。

ロータリーの職業奉仕とは、私たちがそれぞれの仕事を通じて社会に貢献するという理念です。しかし、その実践の形は、職業によって少しずつ色合いが異なります。

まず、**専門職の職業奉仕**です。医療、法律、技術など、専門性を核とする職業では、知識や技能そのものが社会奉仕の道具となります。医師であれば地域の健康相談、弁護士であれば法律相談、技術者であれば安全講習など、**自分の力を直接、地域に届ける**ことが中心になります。また、専門職は社会から“信用で食べている”面が強いため、倫理を守ること自体が職業奉仕と言えます。後進の育成や技術の継承も、大切な役割です。

一方で、**企業経営者の職業奉仕**は、少し視点が広がります。経営者は、自分一人ではなく“組織全体”を動かす力を持っています。健全な経営、安心して働ける職場づくり、公正な取引、地域の雇用の維持——これらはすべて、立派な社会貢献です。また、CSR活動や地域イベントへの協力、学校教育への支援など、**企業が社会にもたらす影響力そのものが奉仕**になります。さらに、企業の教育体制を通じて、多くの若者を“良い職業人”へ育てることも、経営者にしかできない大きな職業奉仕です。

まとめますと――

専門職は、磨き上げた技術を社会に返す奉仕。

経営者は、組織を通じて社会に良い力を広げる奉仕。

どちらも方向性は違っても、ロータリアンとしての心は同じです。自分の職業に誇りを持ち、その力を周りの人々のために役立てること。それこそが職業奉仕の本質であり、ロータリーの魅力だと私は感じています。

■卓話

足立 旬一

1991年9月3日入会、職業分類は、不動産業不動産です。1989年平成元年から足立不動産に勤務しております。

- ・不動産売買・マンション・建売・収益物件
- ・不動産仲介・・・売買・賃貸・店舗事務所・駐車場
- ・不動産管理・・・アパート・マンション・店舗事務所・戸建・駐車場
- ・不動産賃貸・・・貸主として収益事業

弊社は、賃貸管理を基盤に、不動産売買もしております。店舗事務所リーシングも得意です。借地処理などの案件も手掛けております。不動産の有効活用として、賃貸マンション・ビル等を提案企画し建築して頂き、管理することもやっております。築30年以上で、満室を持続して管理物件多数ございます。有効活用で、重要なことは、投資コスト(建築費等)

(裏面につづく)

今週の 情報	本日のプログラム	12月14日 クリスマス家族会
	次会のプログラム	12月16日 休会、12月23日 クラブ協議会②

と間取り賃料設定とのバランスです。平成初めのころは、建築費高く、金利も 7% ～ 8% 前後でした。賃貸マンションを公庫融資で建てる方が多くおり、インフレ時代で、賃料設定も強めで設定しておりました。平成 10 年前後には、デフレで物価が下落し、賃料もかなり減額しました。返済額は、変わらずに、収入が激減して、逆ザヤに瀕する方が多く発生しました。融資条件変更には、金融機関が渋く、借換えを提案することが急増しました。売却を余儀なくされた方も、いらっしゃいました。初期の建築コストと、賃料設定を厳しく検討しないと、賃貸経営は難しいです。建物は、完成してから 30 年以上稼働します。30 年間の経済変化を予測することは、簡単なことではないです。状況の変動を感じながら、現状

維持するか・売却するかを、常に頭に入れることが大切です。不動産は、一生保有するものではなく、出口（売却）を考えながらすすむことが肝要かと思います。私も、令和 4 年 7 月に、平成元年竣工の町田市森野 1 丁目「リード町田ビル」を売却いたしました。

現在、文京で土地の一時使用契約を進めております。元会員中島様より、戸建て賃貸管理を頂きました。鶴野森で、高齢者施設を建設中です。弊社売主で、相模大野 2 丁目土地売契約を 12 月 13 日に予定しております。今年夏に借地処理が完了した町田市中町でアパート建設提案を進めています。町田市中町で、別の借地処理を 2026 年 2 月～ 3 月に完了予定です。2026 年 1 月開店予定のラーメン店が、内装工事中です。

● ● ● ローターリーの友12月号紹介 ● ● ●

12月号のテーマは、疾病予防と治療月間です。目次構成は、会長メッセージ、特集、特別企画でのポリオ根絶活動関連、パギオ基金、ロータリー財団、地区大会略報などとなっています。

【左側】

●2ページ…フランチェスコ・アレツォ会長のメッセージでは、12月のテーマである疾病予防と治療月間ということで身体、メンタルヘルスへの取り組みについて記載されています。

●5ページ…ロータリー談義として、高野ロータリーの友・委員会委員長他 2 名によりロータリークラブとは何か?例会の果たす役割とは何か?ロータリークラブの存在意義とは何か?ということがそれぞれの視点で語られて

います。

●14ページ…特別企画としてポリオ根絶活動に参加された6名の方々のエピソードが紹介されています。

●22ページ…ロータリー日本財団の令和6年度事業報告が掲載されています。

●35ページ…地区大会略報では、先般9月6日～9月7日に伊勢原市民文化会館で行われた地区大会の概要も掲載されています。

12 月は「疾病予防と治療月間」とのことですので、インフルエンザ等が流行しておりますが、皆様も年末に向けて多忙の最中と思いますが、健康に留意して参りましょう。

■個人別出席報告

2025 年 11 月				個人別出席状況				(例会 3 回)			
会 員 名	H	M	%	会 員 名	H	M	%	会 員 名	H	M	%
青 木 亜 也	2	1	100	黒 河 内 彰 子	3	1	133	苗 村 俊	3		100
芥 川 良	3		100	黒 河 内 三 郎	1		出席免除	中 田 克 己	3	1	133
足 立 旬 一	3		100	桑 田 俊 夫	1		出席免除	中 村 辰 雄	3		100
安 達 美 佐	3	1	133	小 林 大 二 郎	3	2	166	中 村 文 子	2	2	133
市 川 孝 幸	3		100	小 林 嘩 子	3		100	中 村 好 孝	3		100
一ノ瀬 裕	1		33	佐 伯 外 次	2		出席免除	中 山 正 太 郎	2	1	100
伊 藤 清 明	2		66	三 枝 富 博	—	—	—	中 山 智 晃	2		66
伊 藤 悠 貴	2		66	佐 藤 雅 英	2		66	西 生 篤	3	1	133
岩 本 勉	3		出席免除	雫 田 直 輝	3		100	藤 原 新 一	3	1	133
江 田 昌 弘	3	1	133	澁 谷 直 樹	1		33	松 井 克 之	3		出席免除
大 谷 新一郎	2	4	200	渋谷 勝	—	—	病欠	松 浦 修	2		100
大 西 孝 幸	3		100	杉 崎 信 一	2	1	100	松 山 隆 雄	1		33
大 野 治 雄	1		33	杉 山 浩 之	3	1	133	溝 渕 真 澄	1	1	66
小 方 實	2		66	須 坂 知 恵	3	1	133	宮 崎 雄 一 郎	—	—	—
小 川 仁 司	2		66	鈴 木 晴 澄	2		出席免除	森 泉 朋 子	3		100
奥 橋 園 子	3		100	鈴 木 昌 彦	3		100	山 田 修	3		100
小野田 勝 宏	3		100	関 裕 次	1		33	若 林 美 佳	3	1	133
壁 谷 玲	3	1	133	竹 村 克 二	3	2	166				
栗 林 一 郎	3		100	徳 久 京 子	3		100				
									平 均	96.29 %	

■本日のスマイルBOX

竹村 克二君・小林 大二郎君・黒河内 彰子君

★本日は足立さん、松井さん卓話宜しくお願ひします。取業奉仕のお話し楽しみにしております。

足立 旬一君

★本日卓話をさせて頂きます。拙い内容です。申し訳ございません。

青木 亜也君

★足立さん、松井さん卓話お引き受け頂きありがとうございます。楽しみにしています。

杉崎 信一君

★日曜日の家族会では妻、娘夫婦と孫 3 人の大勢での出席となります。騒がしい孫達ですがお許しください。

徳久 京子君

★誕生日のお祝いをありがとうございます。

■本日のスマイル 20,000円
■累 計 553,360円

□出席報告：出席委員会		12月9日	会員数	出 席	メイクアップ	合 計	出 席 (%)	欠 席	
前々回	第 2561回	11月 18日	当日	55 (51)	37	2	39	76.47	12
			修正	55 (51)	37	3	40	78.43	11
第 2563回		12月 9日	当日	55 (51)	33	3	36	70.59	15

11月18日 (修正) 完全欠席＝一ノ瀬、伊藤(清)、伊藤(悠)、大野、小川、三枝、澁谷(直)、関、中山(智)、松山、宮崎

第2563回 (今年度第16回) 例会 食事口ス	2,700円×1=2,700円	現在までの通算食事口ス	62,100円
--------------------------	-----------------	-------------	---------

会報委員長 芥川 担当委員 芥川 岩本 西生 中村(文) 市川 伊藤(清) 三枝 佐藤 杉崎 関 中村(辰)